



平成14年12月18日

各 位

東京都目黒区中目黒2丁目6番20号  
楽 天 株 式 会 社  
代表取締役会長兼社長 三 木 谷 浩 史  
(コード番号：4755)  
問い合わせ先 常務取締役財務経理部長  
山 田 善 久  
TEL (03)5720-3041

### ライコスジャパン株式会社の子会社化に関するお知らせ

平成14年12月17日開催の当社取締役会におきまして、当社は平成14年12月20日を期して、株式譲受及び第三者割当増資引受によりライコスジャパン株式会社を子会社化することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 子会社となる会社の概要

商号	ライコスジャパン株式会社	
所在地	東京都港区北青山3丁目3番5号	
代表者の氏名	吉田 和男	
設立年月日	平成10年4月14日	
事業の内容	ポータルサイトの運営	
決算期	12月31日	
従業員数	87名	
資本の額	7,025百万円	
株主構成	住友商事株式会社	44.33%
	Lycos, Inc.	27.09%
	Lycos Business Trust I	19.70%
	株式会社角川書店	3.94%
	株式会社インターネットイニシアティブ	2.46%
	住商情報システム株式会社	2.46%

経営成績

(単位：百万円)

決算年月日	平成12年8月1日 - 平成13年7月31日 (監査済)	平成13年8月1日 - 平成13年12月31日 (監査済)	平成14年1月1日 - 平成14年6月30日 中間(未監査)
売上高	1,499	623	530
営業損益	1,655	713	835
経常損益	1,653	722	877
当期損益	1,654	725	879

流動資産	1,769	1,004	1,155
固定資産	147	141	162
資産合計	1,917	1,146	1,317
流動負債	1,681	1,636	187
資本合計	235	490	1,130
負債資本合計	1,917	1,146	1,317

\*平成13年12月期は、決算期の変更により5ヶ月決算となっております。

2. 異動の前後における当社の所有に係る子会社の議決権の数及び議決権の総数に対する割合

	(異動前)	(異動後)
当社所有議決権数	0個	121,500個
(当社所有株式数)	0株	121,500株)
議決権の総数	25,375個	135,000個
(発行済株式数)	25,375株	135,000株)
議決権の総数に対する割合	0%	90.0%
(発行済株式数に対する割合)	0%	90.0%)

3. 異動の内容及びその年月日

内 容	Lycos, Incより6,875株、Lycos Business Trust Iより 5,000株をそれぞれ取得 ライコスジャパン株式会社が行う第三者割当増資によって発行す る109,625株を全株取得
異動年月日	平成14年12月19日 株式譲受 平成14年12月19日 第三者割当増資払込(予定)

4. 取得金額

株式譲受、第三者割当増資合計で1,200百万円

## 5．取得の目的

当社グループは総合的なインターネットサービスグループ企業として、インターネットショッピングモール「楽天市場」を中核に、株式会社インフォシークの運営するポータルサイト「インフォシーク」などインターネット関連の各種サービス事業を展開しております。

特にポータル事業については、多数のユーザー（会員）を背景とした広告媒体（メディア）としての価値だけでなく、「楽天市場」へのトラフィック誘導を図ることで、Eコマースの活性化を図る重要な場と位置付けており、同事業を拡大することにより、グループとしての更なるリーチ（ ）拡大を目指しております。

今回のライコスジャパンの子会社化により、当社グループ内でポータル事業を営む子会社はインフォシークに続き2社目となりますが、それぞれのユーザー層は、ライコスジャパンが女性・若年層、インフォシークについては男性ビジネスマンが比較的多いことから相互補完的な関係にあるといえ、「楽天市場」へ誘導できるトラフィックの裾野が更に広がることから、一層の業容の拡大が期待できます。

また、当社グループのメディアとしてより一段の価値向上が見込まれることから、広告収入の増大も期待されます。

なお、今回のライコスジャパン株式会社への事業参画を手始めに、住友商事株式会社の展開する各種ブロードバンドインターネット関連ビジネスとの業務提携を検討していきたいと考えております。

：何%のインターネットユーザーに、サービスが利用されているかを示す指標

## 6．今後の業績に与える影響

当社では、インターネット業界の歴史が浅いこと及び環境の変化が激しいことなどの理由により、従前より業績見通しを発表しておりません。そのため業績見通しに代えて四半期決算の開示を行っております。

ライコスジャパン株式会社は、売上の低迷と高コスト体質により営業赤字の状態となっておりますが、同様の業態である株式会社インフォシークとのコンテンツの共有等によるコスト削減や営業部門の連携による売上の増大、及び広告宣伝費の圧縮・リースの解約等各種経費の削減策を講じることにより、早期に黒字への転換が可能と考えております。

なお、平成14年12月期の連結業績への影響については、12月末日をみなし取得日として貸借対照表のみを連結するため、連結調整勘定の償却（約900百万円を一括償却予定）が主なものであり、売上、営業利益及び経常利益についての影響は極めて限定的となる見通しであります。

## 7. 役員構成（予定）

役員構成につきましては、ライコスジャパン株式会社での正式な機関決議を経て決定いたしますが、下記のとおり予定しております。

代表取締役会長	三木谷 浩史（楽天株式会社 代表取締役会長兼社長）
代表取締役社長	森 学（株式会社インフォシーク 代表取締役社長）
取締役	岩澤 敦（ライコスジャパン株式会社 バイスプレジデント 技術担当）
取締役	山田 善久（楽天株式会社 常務取締役財務経理部長）
監査役	畑 皓二（楽天株式会社 監査役）
監査役	高山 健（楽天株式会社 常務取締役管理本部長）
監査役	尾上 竜一（株式会社インフォシーク 人財部長）

以上